

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	東アジア研究所		
報告書提出日	2019年10月13日		
留学予定期間	2019年10月～2020年8月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 920 (ユーロ) /合計

航空券代： 194,680 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他 ()： () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

6月半ばに受入許可証が派遣先大学から届く。

同時に入寮の手続き案内や渡航前のチェックリストも届く。

また、大学のウェブサイトに登録をし、必要事項などを記入。

6月下旬に入寮の申し込みをする。

7月初旬に航空券を予約。

7月中旬にバディから連絡が来てやり取りを始める。

7月下旬に寮への出願(デポジット)として600ユーロを送金。

8月初旬に初月の寮費として320ユーロを送金。

8月下旬に部屋の確保ができたと連絡が来て、住所や部屋番号も確認。

その他としては、バディから必要書類の確認のメール届いたり、何日に到着し、到着後は何をするか、何を買いに行くかなどスケジュールを確認したりした。受入許可証や保険に書類、寮の受入許可書、奨学金証明書などは大事な書類であるため、5部ずつコピーして持参した。分からないことはバディや国際センターにすぐ確認し、早め早めの行動をするのが大事。

1.2. 渡航について

出発前日は母親とともに成田空港近くのホテルの宿泊。

当日10:50のフライトだったため、8:30には成田に到着しチェックイン。

デュッセルドルフ国際空港には現地時間の16:00頃に到着。

空港にはバディが迎えに来てくれていて、そこから電車で一本乗り継ぎも含め、20分ほどでデュースブルクに到着。

デュースブルクの駅から寮までは徒歩 10 分ほど。バスも出ています。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

出国前に出願料（デポジット）として 600 ユーロ、初月寮費として 320 ユーロ支払っていたため、到着して入寮の際に払うお金はなし。

今後の寮費の支払いは、毎月 4 日に 320 ユーロ口座から引き落とされる。そのため、現地でドイツの銀行口座の開設が必要。

当日寮についた際は、バディが事前に部屋の鍵を受け取っていたため、スムーズに入寮できた。

部屋は一人部屋で、冷蔵庫やベッド、本棚、机、椅子、クローゼット、鏡、暖房器具などはそろっていた。シャワーとトイレは隣の部屋の人と共有。キッチンフロアごとに共有。

ベッドに関してマットレスはあるが、シーツや枕、布団はないので、到着後に購入。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

到着から 3 日後、強制保険の免除の証明の受け取りを行った。

日本で海外保険に加入したため、ドイツでの保険に入る必要はないとのこと。

費用も掛からず、バディとともに行って短時間で完了。

その次の日に外国人局に行き、ビザの申請を行った。

バディとともに行き、予約はしていたが少し待つ時間があった。

現時点では申請は通ったが、まだビザが発行されていない。

セメスター費用として学校に 300 ユーロほどを支払う必要があり、それを支払わないと学生として認められず、その証明がないとビザを発行できないようだ。

支払いの証明を受け取り次第、外国人局の担当者にメールを送り、ビザ発行という流れだ。

しかし、月 8 万円の奨学金ではビザ発行のために必要な月額 853 ユーロ以上の滞在費用に達していないため、追加で閉鎖口座を新たに開設する必要があると追加で連絡が来る。閉鎖口座を開設し、必要な金額を振り込み、再度担当者からの連絡を待つ。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

10/7 学生登録、ドイツ語のプレイスメントテスト

学生登録では、セメスター費用の支払いについての説明や、大学のマイページや Wi-Fi を使用する際に必要な ID、PW（神奈川大学の MNS アカウトのようなもの）の発行、学生証の受け取りをした。

プレイスメントテストはパソコンで行い、穴埋め問題だった。

結果はテストが終わり次第その場でわかり、どのクラスになるかもその場で決まった。

10/? ~ 10/10 履修登録期間

バディに手伝ってもらいながら、大学のマイページから履修登録を行った。

10/14 授業開始（ウェルカムパーティーには授業のため参加できず）

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

帰国後の試験で TOEIC750 点以上の取得を目指したい。また、タンデムや授業での発言を通して英語を話すことへの抵抗感をなくしていきたい。英語だけでなくドイツ語も、日常生活でちょっとした会話ができるくらいまで気を抜かずに頑張りたい。

語学のみならず、ヨーロッパから見た日本や東アジアはどう映っているのかや、ドイツの歴史問題への取り組み方などを知りたい。東アジアの歴史の授業や日本の政治の授業に集中して取り組み、また、ドイツ国内の歴史的遺産を巡りたい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

これまで毎日5限にある英語の講座を取ったり、TOEFL を受けてきたが、それが出願のための勉強になってしまっていた気がする。これらを通して少なくとも英語力は上がったが、実際に現地に到着してからバディと英語で会話しようとする、聞き取れなかったり自分の言いたいことを上手く言えなかったりと苦戦している。私は英語で出願し、英語力を伸ばすことも目的で留学しているので、英語により力を入れていきたい。英語で受ける講義は録音して持ち帰り理解できるまで繰り返し聞き、リスニング力を上げていきたい。また、英語での発言もためらわずにしていきたい。

そして、ドイツに来てみてやはり、ドイツ語が分からないのはとても不便だと思った。簡単な言葉でも聞き取れたりコミュニケーションが取れたりするようになるために、ドイツ語の授業も頑張っていきたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

ドイツ語の授業の進みが早いため、ついていけなくなることはないように、復習をしっかり行う。英語の授業は、多く発言が求められるので、恥ずかしがらずに躊躇わずに発言したい。また、近くに行く学生に積極的に声がけをしてコミュニケーションをとっていきたい。

講義系の授業は一度で理解できないことも多いため、録音して理解できるまで繰り返し聞きたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	12:00~14:00 Contemporary History Of East Asia 16:00~19:30 Deutsch A1
火	12:00~15:00 Japanese Politics
水	10:00~14:00 Englisch B1
木	
金	
土	
日	

4.2. 授業について

①Comtemporary History of East Asia

東アジアの歴史について勉強する講義形式の授業。アジア圏やロシアからの学生が多め。人数は 25 人ほど。

学期中に 2 度のレポート提出がある。内容はそれまでの授業のまとめ。

まだ最初のガイダンス授業しか受けていないが、先生が淡々と授業を進めていき、ディスカッションなどはあまりなさそう。

東アジアの歴史だけではなく、地理的な知識も持っているとう理解がしやすいと思われる。

②Deutsch A1

ドイツ語の授業。レベルは一番下のビギナーコース。ドイツ語の授業だが、説明は英語で行われる。途中で 15 分程度の休憩あり。教科書を 2 冊買う必要があり、計 32 ユーロほど。

初めましての挨拶やドイツ語のアルファベットの発音の仕方、数字の読み方などの初歩的な内容から始まるためわたしにとって安心だが、進みが早い。

いろいろな国からの生徒が集まっているため、ペアになった学生とは英語で教え合ったり確認し合ったりしながら、クラス全体が活気にあふれている。人数は 20 人ほど。

③Japanese Politics

日本の政治についての授業。ゼミと講義の間くらいの授業。人数は 15 人ほどで日本語を勉強している学生が多い。教授も日本語が話せるが授業は英語で進められる。授業の写真を撮ったり録音をするのは禁止されている。日本の政治について、ビデオを見たりしながら理解を深めていく。毎回予習として 30 ページほどの政治についての読みものを読み、250~500 語程度英語で感想を書いてくる。次回の授業で集めて、その日の司会者がまとめをする。また、学期末に 6,500 語程度英語でのレポート提出がある。

④Englisch B1

英語の授業。人数は 25 人ほど。途中で 15 分程度の休憩がある。教科書を購入する必要があり、25 ユーロほど。

習う文法は簡単なものなので理解するのに苦労したり、ついていけなくなるなどの心配はなさそう。しかし、積極的な発言や英語での説明が求められるため、その点で少々苦労しそうである。宿題は教科書の問題を解いてくるが、量は少なめ。

4.3. 予習・復習・自習について

①Comtemporary History of East Asia

授業ごとに扱う内容がシラバスに書いてあるため、それに合った内容をチェックしてきたほうが授業の理解がしやすくなると思う。英語での授業なので録音して持ち帰り、理解できるまで繰り返し聞きたいと思う。

②Deutsch A1

習った単元の分の練習問題を解いてくる。先生は宿題をチェックしないが、私はドイツ語初心者であり、授業の進みも早いために欠かさずやるようにしている。分からないところや発音が難しいところは、ドイツ人の友達に聞いている。

③Japanese Politics

日本の政治に関する英語の本をチャプターごとに読んできて、感想を 250~500 語の英語で書いてくる。これは次回の授業運営に必要なためしっかりやらなければならない。また、政治に関する予備知識があったほうが、理解が早まると思われる。

④Englisch B1

先生が指定した箇所の練習問題を解いてくる。量は多くなく、問題も難しくない。評価対象に入るためしっかりやってくる必要がある。宿題はすぐ終わるので、授業で習ったことの整理や、語彙を増やすために日本から持ってきた英語の本を読むなどして不足を補いたい。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

寮に Wi-Fi が通っていると聞いていたが、実際は寮としての Wi-Fi ではなく、入居者が個人で Wi-Fi を設置して使っていた。そのため一日目は Wi-Fi がなくて寮に帰ってからは誰とも連絡が取れなかったが、後日部屋が近い人と共有するなどして Wi-Fi の件は解決した。

現地で SIM カードを買い携帯に入れて使っている。アクティベート作業は一人ではできず、バディや友達の協力のおかげで何とかやることができた。

5.2. 課外活動について

ドイツでは日曜日はお店がお休みと法律で決まっているので、授業もなく特に出かけることもなく、家でゆっくり休みながら課題を消化して過ごしている。

それ以外の授業がない日は、旅行の計画を立てたいと思っている。

また、ドイツでサッカーを見たいのでスタジアムにも足を運びたい。

5.3. 現在までの感想

ドイツにきて 3 週間が経ったが、今のところ特に大きなトラブルや心配事もなく、今まで通りの生活をしている。しいて言うならば、ドイツ語がほぼ分からない状態で来たため、スーパーやレストランなどの出先で言葉が分からなくて困ることが少々ある。

授業もまだ始まったばかりで、きつさはまだ感じてはいないが、これからだと思うので、辛くなってもめげずに取り組んでいきたい。

ドイツ人や日本人以外の友達をもっと欲しい。自分から話しかける勇気がまだ足りないので、シャイにならずどんどん話しかけて友達を作りたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (12月)

所属	外国語学部	国際文化交流	学科 専攻
派遣先大学 (国)	デュースブルク・エッセン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	東アジア研究所		
報告書提出日	2019年12月13日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

帰国後の試験で TOEIC750 点以上に取得を目指したい。また、タンデムや授業での発言を通して英語を話すことへの抵抗感をなくしていきたい。英語だけでなく、ドイツ語も、日常生活でちょっとした会話ができるくらいまで気を抜かずに頑張りたい。

語学のみならず、ヨーロッパから見た日本や東アジアはどう映っているのかや、ドイツの歴史問題への取り組み方などを知りたい。東アジアの歴史の授業や日本の政治の授業に集中して取り組み、また、ドイツ国内の歴史的遺産を巡りたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

ドイツでの大学生活が始まって2か月が経ち、良くも悪くも生活に慣れてきた。良い点としては、授業中での発言回数を増やせてきている点である。世界中から様々な年代の学生が集まっているため授業では多方面の意見が飛び交っており、その中で自分の考えも発信したいと思えるようになったのは成長だと思う。悪い点としては、時間にルーズになってきている点だ。遅刻をしないように気を付けたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

タンデムでは、英語を話すことへの抵抗感が減ってきており、拙いながらも以前よりは自分の言いたいことが言えるようになってきた。しかし、相手が話す英語を一回で聞き取れないことが多いので、リスニング力をつけたい。そのため、英語で開講される講義ではより集中して話を聞き、耳を英語に慣らせるのと頭で考えられるようにしたい。

ドイツ語の授業は、毎度難しさが増してきているため、復習予習とともに続けていきたい。

2. 学修について

2.1. 授業について

Contemporary History of East Asia

第一回目のレポート提出が完了した。第二次世界大戦後の各国の動きについて調べ、それを英語でま

とめるのはなかなか大変な課題であった。次回のレポートでは今回よりも計画的に進めていきたい。

Deutsch A1

進度が早い。現在、分離動詞について学習しているが、これは神大でのドイツ語初級では学習していない範囲である。しかし、先生も優しくフレンドリーな生徒たちなので、質問や教え合いが盛んに行われており、良い雰囲気です。

Japanese Politics

これは院生向けのゼミだったので授業内容自体は難しいが、教授が留学生向けの課題を出してくださった。教授は日本の公明党について研究しているのでそのお手伝いが課題である。授業中には日本の政治をモチーフにした日本の映画を見るので、それを英語に訳したりしている。

Englisch B1

学習内容は難しくないので、課題をやれば問題がない。先生がランダムに当て、それにこたえる。小さなことでも質問すれば快く答えてくださる。

2.2. 予習・復習・自習について

Comtemporary History of East Asia

シラバスに毎講義ごとの学習内容が記載されているため、それを参考にして事前に調べてから授業に臨んでいる。

Deutsch A1

授業の進度が早いため、復習は欠かさずにやっている。

Japanese Politics

英語での政治用語が難しいため、事前に調べている。

Englisch B1

毎授業課題が出るので、それを欠かさずに行っている。また、授業中に出てくる頻出単語はノートにメモをし、覚えるよう努めている。

2.3. 語学力について

タンデム学習を通して、英語を話す機会が日本にいるときよりも格段に増えたため、英語を話すことへの抵抗感が減ってきている。文法や語彙力がまだ足りないため、言葉に詰まることが多いが、それでも話そうという気持ちのほうが先行してくるようになってきたのは良い変化だと思う。

ドイツ語はまだまだだが、周りの協力のおかげでついていけているので、このままコツコツと頑張り続けたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	------------

寮全体でのインターネットトラブルにより、Wi-Fiを介してもインターネットに接続できなかつたり、部屋の鍵が故障したりのトラブルはあったが、それ以外は快適に過ごしている。外は寒いですが寮の中は暖かく、暖房を入れなくても過ごせる。バスルームをシェアしている隣人とは、掃除当番を決め、お互いに不快な思いをせずに使用できている。

3.2. 課外活動について

クリスマスマーケットの時期になってきたので、毎週末様々な地域のクリスマスマーケットに行っていて楽しんでいる。地域ごとにコンセプトが違ったりしているので、それに合わせた装飾を見て楽しんだり、マグカップを収集したりしている。また、友達ショッピングをしたり、部屋で映画を見たりして楽しく過ごしている。

3.3. 現在までの感想

ドイツに来て二か月が経ち、生活にはもう慣れた。紆余曲折の末、ビザは取得できたが、多くの日本人留学生の友達がまだ取得できずにいる。人間関係も確立でき、友達と楽しい日々を過ごしている。国籍が違う学生たちと英語を介してコミュニケーションをとれている自分に成長を感じる。一月末にはテストがあるので、学習も気を抜かずに頑張りたい。

以上